

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

● 禁止 ● 実行 ● 注意
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。

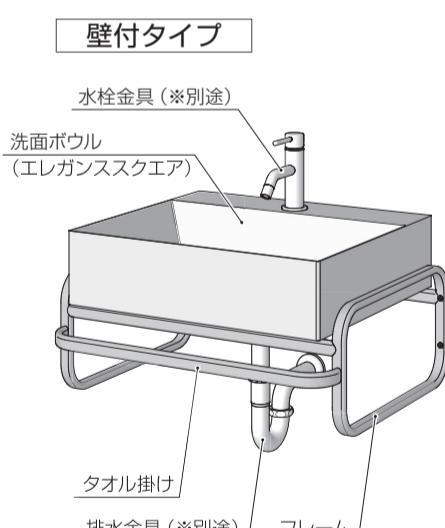
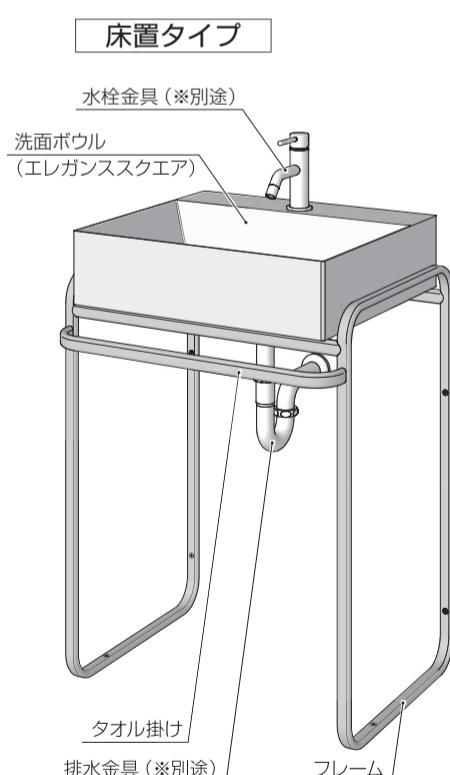
⚠ 警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- 分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。
- 電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。
- 組込まれる電気製品・水栓などについては、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
- 洗面台の据付は、壁面の木桿の位置や強度が十分であることを確認して設置説明書通り正しく行ってください。
- 本体を設置する際は水平・垂直のレベルを出してから施工を行ってください。
最終仕上りが悪くなり、安全性にも影響します。
- 修理技術者以外の人は、絶対に修理・改造は行わないでください。
ケガや故障が生じるおそれがあります。

1 各部の名称

◎エレガンスフレーム洗面



■ 同梱品

床置タイプ	壁付タイプ
皿タッピンねじ Φ 5 × 35 : 2 本	皿タッピンねじ Φ 5 × 55 : 6 本

■ 耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。
・タオル掛け: 3kg まで

- ⚠ 注意** 「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容
- 凍結が予想される際は（寒冷地仕様の水栓の場合）配管と水栓の水抜き操作をしてください（寒冷地仕様以外の水栓の場合）水栓から少量の水を出したままにしてください。
凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。詳細については水栓の取扱説明書をご覧ください。
 - 水道工事などは貴都市の条例に基づいて行ってください。
 - 凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。
 - 組立設置完了後は、がたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。
 - シャワーホースが水受けタンク内にうまく納まるか、数回引出して確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。
 - 据付施工・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。
 - 開梱・設置時は、固い物をぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
変形・破損のおそれがあります。
 - 高温・高温になる場所では使用しないでください。
商品の変色・変形の原因になります。

2 設置前の注意・確認

《設置前の注意》

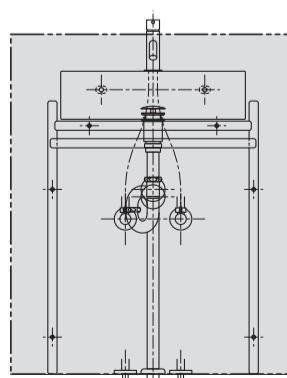
- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 設置までの保管は平置きにしてください。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

《設置前の確認》

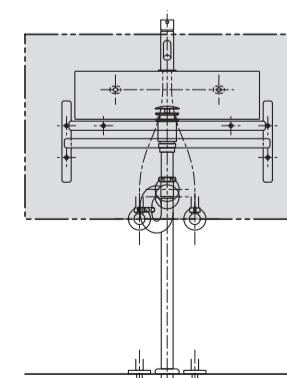
- 設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。
- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
 - 取付用下地の位置および寸法（普通合板t30mm以上）
※ プラスターボード裏に取付下地が入る場合は、12.5mm以下のプラスターボードをご使用ください。
 - 必要な給水給湯管・排水管・電気配線の位置および接続方法。

3 下地補強について

《床置タイプ補強範囲》



《壁付タイプ補強範囲》



下地補強範囲



取付用下地（普通合板t30mm以上）を現場の状況により十分な取付強度が得られるように取付けてから施工してください。

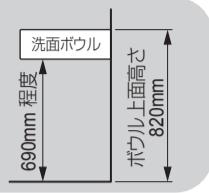
4 設置手順

1. 洗面ボウルの取付け

※ 洗面ボウルの同梱説明書ではなく本手順を参考してください。

- ① 所定の位置に墨出しをして下穴をあけ、洗面ボウル付属のアンカーボルト (M10) を壁面に固定してください。

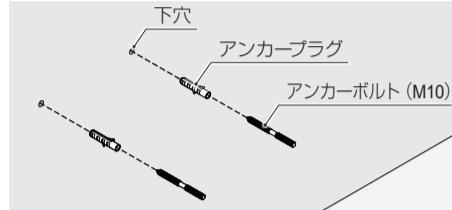
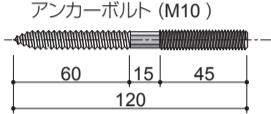
床置タイプの場合、床面から洗面ボウル下端まで 690mm 程度の距離を確保してください。
(686mm 以下の場合は、フレームを取付けることができません)



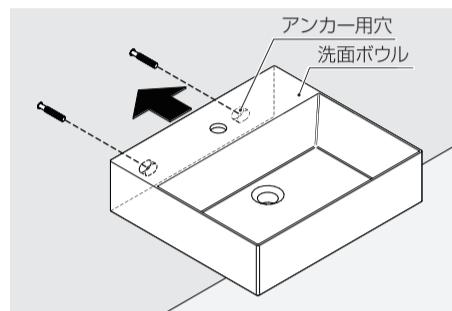
※ 洗面ボウルは陶器製のため、JIS 規格 ±5% 程度の寸法許容差があります。必ず実寸を計測頂き、位置出しを行ってください。

※ コンクリート下地の場合は付属の樹脂アンカープラグを使用してください。

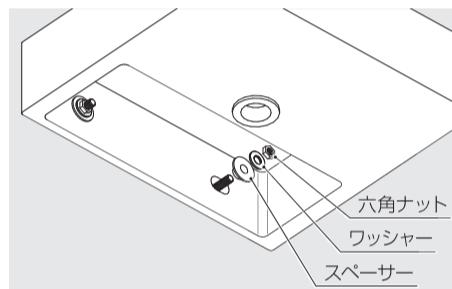
※ アンカーボルトが壁内の配線を傷つけないようにご注意ください。



- ② 洗面ボウルを壁面に向かってスライドさせながらアンカ用穴にボルトを貫通させて、壁面まで押し込んでください。
※ 挿入時に洗面ボウル本体を傷つけないように注意してください。



- ③ 洗面ボウルを付属のスペーサー・ワッシャー・六角ナットでアンカーボルトに仮固定します。



3. 給排水器具の取付け

水栓金具、排水器具を付属の説明書とおりに正しく取付けてください。

5 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、フレーム・ボウルのがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

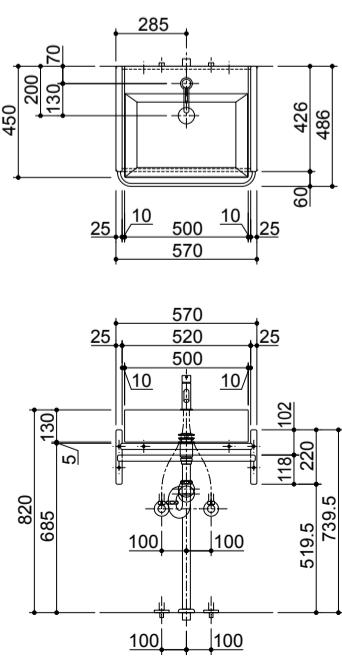
- 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
- 必ずボウルと排水器具の接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。

● 設置後のクリーニング

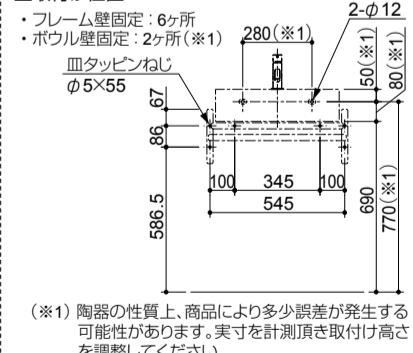
- フレーム・ボウルの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

6 給排水位置、ねじ固定位置

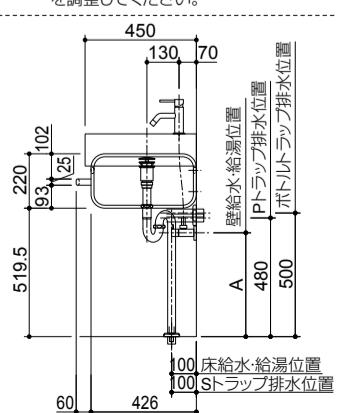
壁付タイプ



壁取付け位置



(※1) 陶器の性質上、商品により多少誤差が発生する可能性があります。実寸を計測頂き取付け高さを調整してください。



- ④ 洗面ボウルの水平・取付け高さを調整しながら六角ナットを締め付けて本固定してください。

※ 過度に締め付けるとボウルや固定部品が破損する場合がありますので注意してください。

※ 洗面ボウルの背面に必要に応じてスペーサーなどを挟み調整してください。

※ [1. ①] に記載の注記 **!** を再度確認してください。

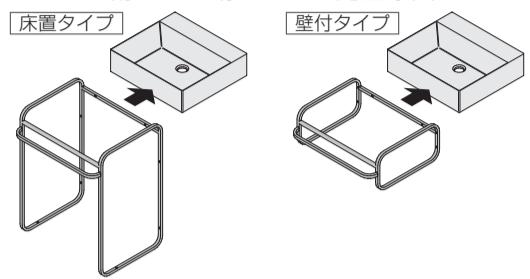
2. フレームの取付け

- ① 洗面ボウルに擦らないようにフレームを前面からスライドさせて位置決めを行います。

※ 洗面ボウルと擦ってしまうとフレームに傷がつき錆びなどの発生原因となるおそれがあります。

※ 間口方向においてフレームの中心に洗面ボウルが来るよう調整して頂くときれいに仕上がります。

※ フレームは洗面ボウルとクリアランスを設けた状態で取付けてください。



- ② フレームを同梱のねじで固定してください。

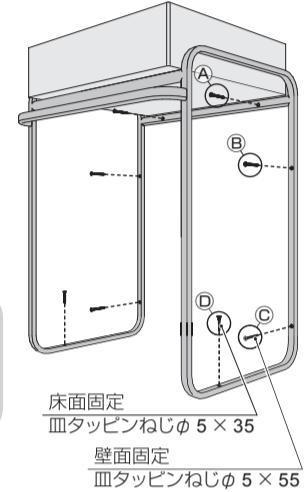
ねじ固定位置は「**6 給排水位置、ねじ固定位置**」参照
※ 同梱のねじで取付強度が保てない場合は、必要に応じてねじ・ボルトの現場手配をお願いします。

(床置タイプの場合)

フレームを、皿タッピンねじ $\phi 5 \times 55$: 6 本にて壁面、皿タッピンねじ $\phi 5 \times 35$: 2 本にて床面へ固定してください。

製品の構造上、フレーム下部が外側や内側に歪む場合があります。

フレームの水平・垂直を確認しながら A → B → C → D の順で固定してください。

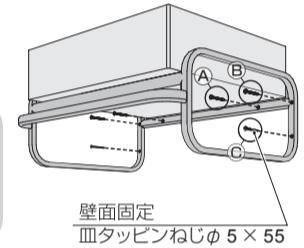


(壁付タイプの場合)

フレームを、皿タッピンねじ $\phi 5 \times 55$: 6 本にて壁面へ固定してください。

製品の構造上、フレーム下部が外側や内側に歪む場合があります。

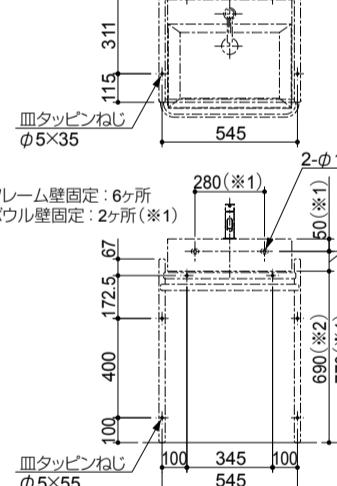
フレームの水平・垂直を確認しながら A → B → C の順で固定してください。



床置タイプ

壁床取付け位置

・フレーム床固定: 2ヶ所



・フレーム壁固定: 6ヶ所

・ボウル壁固定: 2ヶ所 (※1)

・ボウル床固定: 2ヶ所 (※1)

・ボウル床固定